

坂越中学校

学校だより

潮流

12月号

2009.12.1



12月行事予定

- 1(火) PTA三役会
PTA広報部会
- 2(水) 生徒会役員選挙立候補受付(～4日)
- 5(土) ソフトテニスのじぎくカップ(1年)
- 7(月) 生徒集会
生徒会役員選挙告示
- 8(火) 生徒会役員選挙運動(～11日)
専門委員会
- 10(木) 歯磨きスキルアップ事業(1年)
- 11(金) 義士教育講演会
生徒会役員選挙立会演説・投票
- 12(土) 県中学校新人剣道大会
- 14(月) 義士祭
義士祭奉賛剣道大会・駅伝大会
- 15(火) 生徒集会
- 16(水) 個別面談・3年習熟度テスト
- 17(木) 個別面談・3年習熟度テスト
- 18(金) 個別面談
- 19(土) 3世代交流餅つき大会(坂越・高雄)
- 21(月) 個別面談
- 22(火) 専門委員会
給食最終日
- 23(水) 天皇誕生日
- 24(木) 2学期終業式
- 25(金) 冬季休業(～1/7)

- 1/8(金)始業式
- 12(火)3年中間テスト
1・2年課題テスト
- 21(木)3年進路相談会(～22日)

カタツムリのように・・・

「ちりも積もれば山となる」「大洋も一滴の水からなる」

小さなことからといって、おろそかにしてはいけない。つまり「継続は力なり」です。

皆さんもよく知っている「鉄腕アトム」「リボンの騎士」「ワンダースリー」「悟空の大冒険」などで有名な「手塚治虫さん」の「ぼくのマンガ人生」の中に、「何でもいから一つのことを続けると、それは何らかの形でみなさんの宝物になる」とあります。

手塚さんは、小中学校の頃、よくいじめられていたそうです。毎日のように泣かされていたそうです。そこで、いじめっ子に真似できそうにない「漫画」を描こうと考えました。彼の漫画には、一場面毎に物語があり(周りの子は真似は出来ず、「へーっ」の連続ばかりだったそうです)、そのため、いじめは無くなりました。

そして、その後、手塚さんは、世界を代表する漫画家になったのです。

また、「北村西望(きたむら せいぼう)」さんという彫刻家があります。102歳まで数々の作品を作り、特に「長崎平和祈念像」を作ったことで有名です。

その北村さんは、ライバルが「日展」などに次々に入賞していく中、一人取り残されるいう気持ちを味わいました。苦労を重ねながら(彫刻を諦めようと思ったこともあったそうです)努力し、やがて実力が認められるようになりました。

北村さんが「長崎平和祈念像」を作っていたときの話です。

ある夜、その日の仕事を終え、足場を降りてきたとき、下で「かたつむり」が這(は)っているのを見かけました。その時は、何となく見逃していたのですが、明くる日、足場を上がって銅像の上部にさしかかったとき、そこに昨日の「かたつむり」が這っているのを見つけました。像のてっぺん(指先)まで上がっていたのです。そのとき「西望」さんは、わずかな歩みでも時がたてばこんなに進むことができるのだと感動したのです。

そして、「かたつむり」の動きと自分の人生と重ね合わせて、一句作りしました。

「たゆまざる 歩みおそろし かたつむり」
歩みは遅くとも努力を続け、一步一步着実に前進していきたいものです。

頑張れ!、坂中生

学校長 山 根 英 樹



相手の気持ちになって 1年介護実習・キャップハンディ体験

11月20日、午前中、赤穂市民病院から理学療法士の濱田さんと杉原さんを講師にお迎えして、1年生が車いす体験と介護実習を行いました。

例年、1学期に関西福祉大学のほうで学習をしていましたが、今年はスケジュールが合わず、この時期に新しい形で学習することになりました。車いすは小学校でも体験しているようですが、介護実習は初めてのことであり、今まで気づかなかった新しい発見もたくさんあったようです。

○今日の介護実習で、介護される人が不安のないように支えるのが大切だなと思いました。声かけを常にやりながら、起きるときは必ずポンポンとたたいて合図をしてあげたり、相手の気持ちをちゃんとわかってあげなければいけません。車イスで、自分が押す側になったとき、これじゃあ相手も不安になるし危険だなと思いました。反対に、自分が乗る側になったときも、ぶつかったり、坂で急に速くなったりで、少し怖かったです。車イスだけじゃなくて、目が見えなくて、つえをついている人もいますし、とにかくその人が安心できるように、優しくそっと支えてあげられるようになりたいと思いました。

○車イスは段差がある時や坂の時、そして、曲がったりする時が特に難しかったです。

自分が乗っている時も、揺れていたからとても怖かったです。他のグループで声をかけている人たちがいたから、「私はそんなことしていなかったなあー。」と思いました。体が不自由な人を立たせるのは思っていたより難しくて困りました。相手の人はしっかりと体を持って立たせてくれたので、「こういう風に立たせるんだ。」と思いました。家の中にも、少し体の不自由な祖父がいるので、ぜひ今日のことを生かして、助けてあげたいと思いました。



EM団子作り

同じく11月20日、午後からは1年生がEM団子作りに挑戦しました。

こちらは、赤穂特別支援学校から三浦先生を講師にお迎えし、第2回の交流会の時に坂越港に投入するために、約5000個の団子作りをしました。

今年の団子は形もよく、上品なできばえだと、もっばらの評判で、この団子で坂越の海がきれいになったらうれしいなあと、生徒たちも楽しみにしています。



ところが、赤穂特別支援学校との交流会のほうは、残念ながらインフルエンザの影響で、急きょ中止が決定してしまいました。とても残念です！今年は何かとインフルエンザに振り回されますね。

こちらにもインフルエンザの影響で、実施が危ぶまれていましたが、何とか予定通り実施することができました。取り組みの最初に学級閉鎖のクラスが出て、どうなることかと思われましたが、短時間で全クラスすばらしい劇を創り上げることができました。坂中の伝統の灯を消すことなく引き継いでいけたことを大変嬉しく思います。

文化祭

中止になった合唱コンクールを合唱発表という形で文化祭に取り込み、時間的には大変でしたが、各クラスがスムーズな進行に協力し、いい形で文化祭を終えることができたと思います。保護者の皆さんや、地域の皆さんにも、例年通りたくさん参加していただき、文化祭やバザーを盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。



